

平成28年度まちづくり提案制度（松山市民活動推進補助金 次世代育成支援事業）採択団体

松山市では、市民が自主的、自発的に市民活動に参加できる環境づくりに取り組んでいます。今年度から新たに、子どもや若者が自分たちで考え行動する「まちづくり活動」を応援する制度が開始され、以下6団体が採択されました。

◆平成28年度採択団体

平成28年6月19日（日） 公開プレゼンテーション審査会実施

団体名	事業内容
松原泉のホタルを守る会 代表: 井門 敬三 (南高井町分館長)	・松原泉のホタルを守る会 松原泉でたくさんホタルが飛ぶと、散歩する人も増えて優しい人が増えて、安らぎを感じる事できる。そのために、餌の放流や水路の掃除を行います。
チーム鴨川 代表: 越智 誠二 (鴨川中学校 教員)	・クリーン「鴨川」 地域との連携・協力というコンセプトの一環として、校区の名所の一つの「吉藤ホタル公園」に関わる話をもとに、ホタル復活に取り組んだ地域の方々を題材にして、道徳の資料を創るとともに、自作劇の制作に取り組む。
防災リーダークラブ 会長: 矢田部 龍一 (愛媛大学 教授)	・大学生による自主防災組織活性化プロジェクト 防災士資格を取得した学生グループが専門家の指導のもと、避難所運営ゲーム・災害図上訓練の進め方、災害シミュレータの操作を学び、その後は連合自主防災組織に入り、ワークショップ形式で伝えていく。
東雲オレンジクラブ 代表者: 松友 恵美 (松山東雲短期大学2年)	・東雲総活躍社会 東雲短期大学、女子大学の学生、職員が高齢者や認知症を患っている方々への理解を深め、学校行事を通し、地域の人々と交流を深めて、地元へ根付いた教育環境を創る。
愛媛学生演劇祭 実行委員会 ORANGE 代表: 吉中 真菜恵 (愛媛大学3回生)	・四国学生演劇祭の企画・運営 各大学が作品を出し合い、競い合う機会ができることで、互いに切磋琢磨し高め、その輪を四国に広げることで交流の幅を広げる。また、松山市の文化の振興に寄与し、他県から学生が来ることでまちの魅力を発信する。
えひめBBS学生連合 会長: 宮崎 渉平 (愛媛大学 4回生)	・夏休み！老人ホームでプチボラ体験！ 松山市内にある老人ホームを夏季休暇中の子どもたちに開放することで、休暇中の児童に居場所が生まれるため、犯罪や非行の予防に繋げる。

応援カードが一番多かった団体：東雲オレンジクラブ